

とびうお 通信



<http://www.apn.co.jp/gallery/>

agoo gallery Communication Magazine vol.3 June 1 1998

東京写真月間 '98

「撮ろう・見よう・参加しよう。6月1日は写真の日」ということで、今年も写真月間がやってきました。今年のテーマは「女性写真家」。どんな作品が見られるのでしょうか。

都内外 43のギャラリーが参加

今年は、東京都写真美術館を筆頭に、清里フォトアートミュージアムまで、実に43ものギャラリーが参加して行われる。これらのギャラリーでは、今年のテーマである「女性写真家」にそった展示が行われ、この期間、女性写真家一色に塗られてしまうほどの賑わいになるそうだ。

あごうギャラリーは参加せず

「国籍、性別、その他による差別も区別も一切しない」を掲げるあごうギャラリーでは、写真の日および写真月間という考え方に賛同はするものの、

今年のテーマにそった展示は行われない。とは言え、6/21～7/20まで、女性写真家の展示が続く。(久保由紀子、金静華、阪井三智江)

興味のある方も、そうでない方も、是非。

今年はどうなる?

例年好評らしい、1000人の写真展「わたしのこの1枚」は、今年はどうな展示を見せてくれるのだろう。企画は面白いのだが、見せ方に疑問を感じずにいられない。

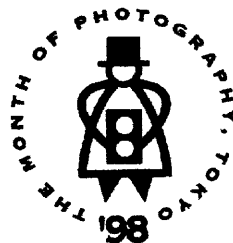
何にせよ、1000人の写真は圧巻、または悪寒で見る価値はある?

個人的お薦め

女性写真家がテーマに据えられているものの、非常に興味を惹かれる写真展も開催される。(決して女性写真家に興味がないと言っているのではないですよ、念のため)

6/16～28まで、新宿パークタワーで「見れる・触れる——視覚障害者による写真展」が開かれる。

これはちょっと想像できない。行くしかない、と思わせる写真展じゃありませんか?



提携施設のご案内

ギャラリーでは、作品制作に役立つ施設と提携しています。今回は、レンタル暗室をご紹介します。次回は、レンタルスタジオをご紹介します予定。なお、これらの施設は、「とひうお倶楽部」会員の皆様は、20%割引でご利用いただけます。

フィルム現像、印画紙現像、仕上げ用品等設置の暗室を薬品付でご希望の方にお貸しします。フィルムと印画紙をお持ちになるだけで簡単に暗室作業が楽しめます。(お好みの薬品をご使用の場合は各自でご用意ください)

引伸機 モノクロ写真用引伸機 (FUJI SD690) 4台

ご利用料金 (1時間1人あたり)

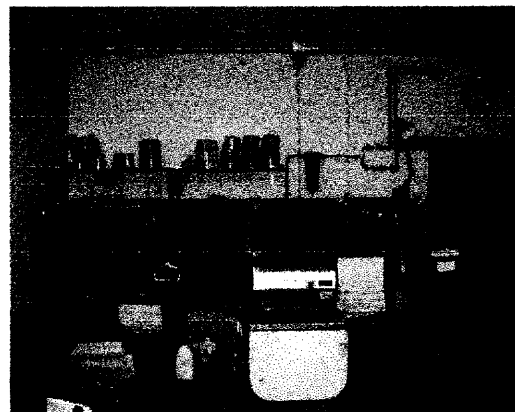
月曜日～金曜日	10:00～18:00	2,000円
	18:00～10:00	3,000円
土曜・日曜・祝日	10:00～18:00	3,000円



引伸機はFUJI SD690が4台

注意事項

- ・ご利用時間は最低3時間からとなります。
- ・予約時間を当日ご解約の場合は使用料の全額、前日は5割のキャンセル料を請求いたします。
- ・ご使用申込者以外への、使用权の譲渡、転貸及び申込の際の使用目的と異なった使用はお断わりいたします。
- ・不慮の事故の場合、当方では責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・使用料は当日現金にてお支払いください。
- ・暗室内の諸設備の汚損・破損・紛失等をされた場合は、修理実費をいただきます。
- ・暗室内では飲食の禁止、禁煙とさせていただきます。
- ・その他詳細はオフィス・ケイ (中島) までお問い合わせ、ご相談ください。



RCの乾燥機、ドライマウントプレスもある

お申し込み方法

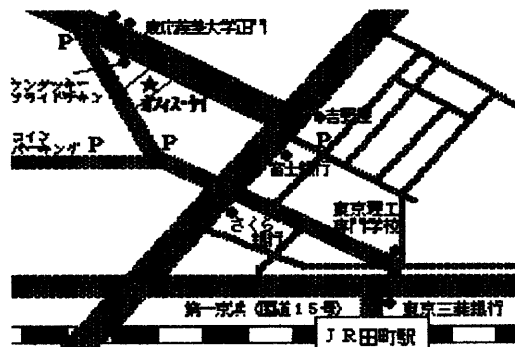
電話もしくは電子メールにてオフィス・ケイ (中島) までご連絡ください。留守の場合は、FAXまたは留守番電話にてメッセージ (使用ご希望の日時・時間・住所・氏名・連絡先) をお残しただければ、折り返しこちらより確認のご連絡をいたします。

オフィス・ケイ

〒108-0073 東京都港区三田 3-1-4-4F

Tel/Fax 03-3451-4470

HomePage <http://www.apn.co.jp/kei/>



慶応大学正門前プライドチキン3軒左
中島ビル4F JR田町駅より徒歩7分

写真展のご案内

6月1日(月)～10日(水) 11:00～19:00(最終日17:00まで) 会期中無休

奥山真詩写真展「瞳と笑顔に惹かれて僕は君の写真を撮る」

綺麗な瞳を見るとドキドキする。とびきりの笑顔に出会うと幸せな気分になる。そんなシンプルな気持ちから彼女たちにレンズを向けた。ただ「撮りたい」というPhotographerなら誰でも持つであろう素直でシンプルな動機だ。世代の違う被写体に巡り会ったので、それぞれのポートレートをお覧頂きたい。

作者略歴

1964年 東京生まれ

1985年 東京工芸大学短期大学
部写真技術科卒業

現在、習志野市で写真館経営



6月11日(木)～20日(土) 11:00～19:00(最終日17:00まで) 会期中無休

今泉義弘写真展「黎明」

もう何度、夜中発の夜行軍の撮影をさせていただこうか。荷を積んだらキーをひねる。月明かりをお供に走りなれた道には挨拶しながら、新しい道には道に行き先を訪ねながら走る。撮影地では魑魅魍魎にびびりながらも日の出をじっと待つ。

夜明けの色は何度見ても感動的。東京でも見る色、尾瀬で見る色、日光で見る色、どこでも個性的な色を見せる。一瞬とて同じ色を保っている時間もない。まだ見ぬ色をさがしてこれからもまだまだ走るつもりである。

作者略歴

1968年 東京生まれ

国立東京高専 在学中に写真を始める。
卒業後も某化学会社勤務のかたわら、
各地を徘徊しながら撮影する。

今の所、メインの撮影地は尾瀬と奥日光に落ち着いてはいるが、そろそろ徘徊癖が復活しそうである。



6月21日(日)～30日(火) 11:00～19:00(最終日17:00まで) 会期中無休

久保由紀子写真展「New York Women's」

橋や工場を造った文明に、近い存在の男性と男性社会。

彼等は省みることなくあまりにも進み過ぎた。

街の中で、女性というものすらも彼等は文字や電波の文化を使って、自然から引き離す。

そして今、技術文明は生殖を汚染し誕生前の子供を黙らせている。

戦争時の軍事協力の様に、破壊を進める人間のサポートをしてはいけない。

何が一番大事で、何故一番大事なんだろう？



作者略歴

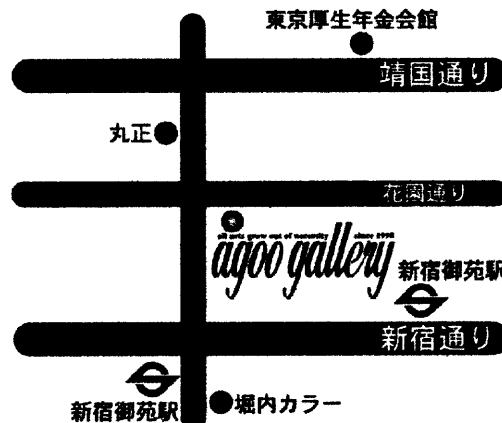
平成8年 東京総合写真専門学校卒業

all arts grow out of necessity since 1998
agoo gallery

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-15-12-2F

Tel/Fax 03-3350-3667 11:00～19:00(最終日17:00まで)

営団地下鉄丸ノ内線新宿御苑駅徒歩3分



Editor's Room

まったく、とんでもないことが起こってしまいました。完成、という所でページメーカー6.5]がクラッシュ。「とびうお通信 vol.3」は昇天してしまったのでした。道連れで、vol.1、2も死んだし、ネスケも瀕死、システム再インストールでも不安定なまま、という、最悪の事態に陥ってしまいました。これ、テストプリントを切り貼りして作りました。とほほ。(AK)

とびうお通信

agoo gallery Communication Magazine

vol.3 June 1 1998

編集 あせらけい

発行 agoo gallery